



ゆめのせて

十日町市立ふれあいの丘支援学校 令和8年2月27日発行 vol.10
令和6年度「いじめ見逃しゼロ標語・ポスター」金賞受賞小学部共同作品

☆卒業を祝う会に向けて☆



3月4日(水)に行われる「卒業を祝う会」に向けて、16日(月)に小学部・中学部合同で、オリエンテーションが行われました。卒業を祝う会についての見通しをもつこと、卒業生への感謝とお祝いの気持ちを持ちながら仲間と一緒に活動することなどをねらいに、卒業生に内緒で準備を進めています。

学級ごとに役割(お祝いの言葉、思い出のスライド、卒業生とゲーム、卒業生お礼の言葉など)を分担して活動をしています。係によっては、小学部と中学部で一緒に準備を進めているクラスもあり、上級生を見ながら一緒に仕事をがんばる姿が見られています。事前学習を通して、友だちと一緒に活動することの楽しさを味わいながら、卒業生への感謝の気持ちや卒業を祝う気持ちを育てています。

◇◇◇「ゆめのおか」ありがとうの会◇◇◇



2月24日(火)に、十日町小学校の児童とふれあいの丘支援学校の児童生徒、両校の職員が一同に会して、1年間の交流活動を振り返るとともに、やまびこ班の友だちに対する感謝の気持ちを伝え合う「ゆめのおか」ありがとうの会を行いました。お楽しみ交流ゲーム(「ありがとう」ポムポムゲーム、並べるかなゲーム、じゃんけん列車)をしたり、記念撮影をしたりしました。「共生の理念」のもと両校で取り組んでいる交流及び共同学習の1年間の締めくくりの学習ということで、笑顔で触れ合ったり、自然と手を差しのべたりと子どもたちの関わりが随所に見られました。子どもたちの力は本当にすごいなと心が温くなる会でした。「共生の理念」を城ヶ丘からどんどん発信し、地域へ広げていきましょう!



継承 ～今のわたしたちができること、未来へつなげること～

校長 小林 浩子

2月20日(金)、東京で「令和7年度インクルーシブな学校運営モデル事業中間発表会」が開催され、文部科学省の指定を受けた全国の13道府県からの取組が発表されました。本校は、モデル事業に参加しているわけではありません。しかし、10年以上にわたり、小学校・特別支援学校・発達支援センター(福祉部局)の三施設が一体となった校舎で、日本型インクルーシブ教育システムを進めてきた「夢の学校」として参加しました。十日町小の大島校長先生が取組を発表した後、2人でパネルディスカッションに参加しました。今回は、少し専門的な話も含みますが、ご紹介したいと思います。

私は、全国の素晴らしい取組を聞き、改めて「夢の学校」の環境やシステムのありがたさを痛感しました。他校の取組は、交流の側面だけでなく「共同学習(一緒に教科学習)」まで踏み込んだもので、今後の本校の在り方にも多くの示唆をいただきました。一方、離れた学校同士の取組もあり、既存のシステムの中で、「一人一人の力を伸ばす」とともに「できるだけともに学ぶ」ためには、多くの工夫が必要であることも実感しました。

大島校長先生から、「本校の廊下は、まるで街の中のようです。大人も子どもも、学校の人もそうでない人も、障害があってもなくても、いろいろな人が共存しています。街の中で見られる風景があり、当たり前の日常になっています。」という話がありました。



私たちの「夢の学校」には、文部科学省が設置しているすべての多様な学びの場(通常の学級、通級指導教室、特別支援学級、特別支援学校)と18歳まで、関係機関とつないだり、本人や家族をサポートしてくれたりする発達支援センターがあります。一人一人に合った学びの場で、その人に合ったやり方を見つけ、自分らしく生きていく力を伸ばしていくことができます。力を伸ばすためには、個別・少人数学習とともに、集団の中での自己理解が必要です。どの子ども将来「社会」という多くの人との関わりの中で生きていくからです。私たちの学校では、交流活動や場面を通して、お互いを知り、自分の役割を見つけ、人から感謝される機会がたくさんあります。子ども同士だけでなく、教職員、保護者、地域の方との関わりがあり、「夢の学校」が人と人をつなぐ「みんなの居場所」であることも確かです。これを30年以上前に構想し、長い年月をかけて創り上げてきた先人たちの想いや努力には敬意と感謝の気持ちしかありません。

私は、この恵まれた環境やシステムができあがったところに赴任させていただきました。今回発表した実践校のような生みの苦しみはありませんでした。私にできることは、先人たちの想いを受け継ぎ、発展・発信していくことだと改めて考えています。「夢の学校」のような施設はなくても、できることはたくさんあります。これからも「夢の学校」の子どもたちが将来、共生社会を創る大人になっていくように日々の教育活動を大切にしていきます。そして、「夢の学校」の当たり前が、十日町市の当たり前、新潟県の当たり前、日本の当たり前になっていったらと願います。全国に「共生の理念」が広がり、どの子ども自分らしく生きていける社会になるよう、頑張ろう!と思いました。私たちにとって当たり前の日常は、大切につないでいくかけがえのない日常です。どうぞ、これからも、「夢の学校」の教育活動にご協力いただきますよう、心よりお願い申し上げます。



保健の窓

暦の上では春ですが、まだまだ寒い日もあります。空気が乾燥している場所では感染症がまだ流行しやすいです。引き続き、マスクの着用や手洗い等の感染症対策にご協力をお願いいたします。

2月は、何となく体が重い、やる気がでない、すぐに疲れるなどの症状がでやすいんだそうです。そんな時は、生活リズムを見直し、体と心の調子をととのえましょう。

うんちは体からのおたより

冬はおしりのなやみが増える時期です。おしりも血行が悪いと排便時に痛みや、出血などの症状が出やすくなります。

うんちは、体が元気か教えてくれる大切なもので、流す前に確認してから流すようにしましょう。朝、時間がなくて排便習慣がつかない児童もいます。排便を我慢すると便秘になりやすいため、余裕を持って朝の準備したいものです。



花粉の飛散時期が近づいています。

今年は、花粉飛散時期も例年より早く、量も多いと予想されています。症状がひどくなる前に早めに受診されることをおすすめいたします。またツルツルとした素材の服を身につけたりマスクでガードするなどして花粉に備えましょう。



「怒り」を上手にコントロールする方法

深呼吸する



ゆっくり息を整えることで緊張がやわらぐ

ゆっくり数を数える



時間をつくり反射的な怒りの爆発を防げる

その場から離れる



距離をおくことで冷静さを取り戻せる

楽しいことを考える



意識を切り替えて怒りの感情を弱められる

今後の予定

3月の予定

4	水	卒業を祝う会 同窓会入会式(中学部3年生)
5	木	卒業式全体練習
6	金	第2回PTA茶話会 13:30~15:00
12	木	卒業式全体練習
16	月	卒業式全体練習
18	水	3学期終業式 13:30下校
19	木	卒業証書授与式 11:30下校
26	水	離任式 10:30下校

【お知らせ】

いじめ見逃しゼロ「県民サポーター」募集!



「いじめ見逃しゼロ」の気運を社会全体で高めていくため、ぜひご登録ください

LINE登録   LINEで、月に1~2回の情報発信

- 各学校の取組を紹介
- 県民運動の情報や活動案内
- いじめ問題等に関するコラム発信

メール登録 

問合せ先 深めよう 絆 にいがた県民会議
事務局 新潟県教育庁生徒指導課 TEL 025-280-5793



いじめ見逃しゼロ 県民運動

深めよう 絆 にいがた県民会議

お知らせ

各種懇談・学習参観・PTA 有志活動 セレモニーを行いました!

2月18日(水)に学校懇談・学部懇談・学級懇談、学習参観、有志活動セレモニーを行いました。多くの保護者の皆様から、ご参加いただきありがとうございました。

各種懇談では、今年度の当校の活動及び来年度の方向性について話をさせていただきました。多くの保護者の皆様からご参加いただき、方向性についてご相談ができ、よい機会となりました。

その後、長年 PTA 有志活動にご尽力いただいた皆様への感謝のセレモニーを実施いたしました。青Tシャツの販売や制服、体操着等のリサイクル活動を先頭に立って、取り組んでいただいたことへの感謝の気持ちを込めて会を行いました。有志活動を長年にわたり取り組んでいただき誠にありがとうございました。

3/6(金) 第2回 PTA 茶話会

3月6日(金) 13:30~15:00に第2回 PTA 茶話会を計画しております。アドバイザーとして、上越地区手をつなぐ育成会会長 松原義一様と副会長 山川美香様からお越しいただきます。気軽にいろいろな話ができる場にしたいと思っております。飲み物片手にお気軽にご参加ください。

出欠がまだの方は、右の二次元コードから、Googleformへアクセスし、参加について入力ください。よろしくお願いいたします。



十日町市立ふれあいの丘支援学校

〒948-0022 新潟県十日町市学校町1丁目614番地32
TEL 025-752-7471 FAX 025-752-7472
✉ tokamachi.fureai-ss@edu-niigata.ed.jp

